

【家庭教育支援チーム】

(1) 活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	鹿児島市家庭教育支援チーム (呼称:子育てかご RIN 中央) Facebook ページ: 子育てかご rin 中央
②活動拠点	上荒田町公民館(〒890-0055 鹿児島市上荒田町 24-7)
③活動範囲	荒田小・山下小・城南小・松原小・中洲小・八幡小・武小・田上小・原良小・西陵小・武岡小・武岡台小・明和小の学区
④組織体制	28 人 生活倫理相談士 11 人(うち民生委員2人、児童通学保護員1人) シニアサポーター 11 人(うち民生委員2人、人権擁護委員1人、保護司1人、ファミリーサポートセンター提供会員2人、子育て支援員5人) ママさんサポーター6人(現在子育て中のお母さんたち)
⑤活動開始年度	平成 20 年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 子育てかご RIN 中央 代表 中村育美 (TEL) 050-3708-8089 (E-mail) sakura.dolphin13@gmail.com

(2) 活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者への学びの場の提供 <input checked="" type="checkbox"/> 地域の居場所づくり <input type="checkbox"/> 訪問型家庭教育支援 <input type="checkbox"/> その他()
②活動対象	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施
③活動内容	【具体的な活動内容】 ○「かご RIN 子育てセミナー」の開設 ・活動拠点である公民館にて、鹿児島市のご後援をいただき、ほぼ毎月1回子育てセミナーを開催しています。 ・参加対象は、妊婦さんをはじめ、子育て中の保護者、さらには受験期中・高校生など、幅広い子育て世代の保護者です。(※託児あります) ・セミナーの内容は講話&グループトーク形式で、参加者の要望も入れながらテーマ(子供のしつけ、好き嫌い、反抗期、子供を伸ばす一言など、子育てに関すること)を定めて講師からお話いただいた後、子育ての悩みなどを語り合うグループトークをおこない、参加者同士のコミュニケーションと情報共有を図っています。その後、グループトークの中でた疑問や悩み等について講師からアドバイスをいただきます。

なかなか他の人には聞かれない悩みなどもありますので、別途、個人相談も受け付けています。

子育てセミナーの様子



○子供倫理塾の開催

- ・活動拠点である公民館や近くの公園など、活動目的にあわせて、年6回開催しています。子育てセミナーと併設する場合があります。
- ・参加対象は、幼児・小学生ですが、子育て中のお母さん、学生さん、高齢者などがお手伝いしています。
- ・子供倫理塾の活動方針は、「遊び」「学び」「しつけ」で、楽しみながら、「あいさつや返事」「後片付けや物の大切さ」「食べ物への感謝の気持ち」など、良い生活習慣が自然に身についていくようなプログラムを組み込んでいます。
- ・保護者も一緒に参加できます。出来るだけ子供の自主性を伸ばせるよう見守りながら参加していただいています。

子供倫理塾の様子



○広報紙の作成・配布

子育てセミナー、子供倫理塾などの様子は、Facebook や広報資料等で参加者や参加希望者に配布しています。

○子育て委員会の開催

子育て委員会のスタッフが毎月定期的に集まり、情報共有をはじめ、次回のセミナー・子供倫理塾などの企画や進め方について話し合っています。

<p>④活動の成果 (活動実績がある場合)</p>	<p>○子育てセミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加された方々が、講師の話を聞いて「そんな考え方をすればいいんだ」というように気持ちを切り換えられたり、悩み事を講師に相談して「あまり深刻に考えすぎなくていいんだ」などいろいろな気づきがあり、それが子育ての安心感につながっています。 ・グループトークで日ごろの子育ての心配ごとや悩みを語り合うなかで、「みんなも同じような考えを持っているんだ」「私一人だけではないんだ」などと共感できたり、安心されて帰りには笑顔がこぼれ和気藹々とした雰囲気になっています。 ・具体的な事例としては、「子供が学校に行きたくないと言って休むことが多くなったが、セミナーで学んだことを思い出し、まずは親自身が学校を好きになろうと思い切って PTA の役員を喜んで引き受け学校に行くようにしたところ、しばらくすると子供も喜んで学校に行くようになった。」という体験をされたお母さんも出てきています。 ・セミナーに参加されるなかで、いつのまにか仲間意識が生まれ、初めは悩みを抱えていたお母さんが少しずつ成長され、新たな悩みを抱えるお母さん方のサポートをしていただける関係づくりができています。 <p>○子供倫理塾</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供たちに塾の進行などを任せることで、子供たち自身にやる気と自主性が芽生えてきています。 ・おやつの時間には、食べ物がどのようにしてできたのか、食べ物が自分たちの体の栄養になっていくことなどを子供たちに伝える中で、食べ物への感謝の気持ちが育まれてきています。また、食べた後の後片付けも、子供たちでできるようになりました。 ・春はひなまつり、夏は七夕、冬はクリスマスなどの行事を組み込む中で季節を楽しみながら暮らす気持ちが育まれています。 ・夏休み前には、全国しきなみ子供短歌コンクールの応募用紙が学校から子供たちに配布されますので、短歌講師を招いて短歌づくりに挑戦し入賞する子供たちも出てきました。 ・夏休みの習字の宿題にあわせ、書道講師を招いて習字の指導をもらい子供たちに喜ばれています。
<p>⑤活動財源</p>	<p><input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施</p> <p><input type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (「家庭倫理の会鹿児島中央」の補助金をもとに活動)</p>